

お元気ですか



旭川市議会議員 笠木かおる通信

旭川市豊岡5条9丁目1番2号
TEL.FAX.0166-32-4863
kasagi@potato.hokkai.net



大雪山の白雪が日ごとに高度を下げています。

秋の夜長をいかにお過ごしでしょうか。「かおる通信」48号をお届けします。ご高覧賜りご指導いただければ幸いです。

旭川市議会議員 **笠木かおる**

10周年の夕べを開いていただきました。

連合後援会（山川博千会長）主催で8月12日、旭川ターミナルホテルで「議員活動10周年の夕べ」を開いていただきました。当日は夜分にもかかわらず600人を越える皆様にご出席くださり、大きな励ましをいただきました。これを節目に、これからも大好きな旭川が少しでも良くなるように、初心にかえって議員活動に精進します。本当にありがとうございました。



稲作作況を調査。



7月の長雨や日照不足が心配されるなか8月上旬、佐々木隆博衆議院議員らとともに市内の圃場に足を運び作況を調査しました。

今年は、予想以上に厳しい収量で、農業共済の適用をはじめ、農業改善資金の償還猶予などの対策を行政に求めています。

なお、佐々木衆議はこのたび、政務3役の農水省政務官に抜擢されました。農業・農村振興のための大きな活躍が期待されています。

消防の行事へ積極的に参加しています。



最近、総務常任委員長の立場で消防に関する行事に積極的に参加しています。

8月28日には自衛消防隊訓練大会（写真）が総合防災センターで開かれました。旭川市の消防力や防災力は近年、道北圏域の要として向上しています。市民一人ひとりの防火意識の積み上げこそが、安心の街づくりの大きな力となっていくものと思います。

8月13日にご逝去された高丸修氏を偲ぶ会が9月6日、トヨタグループや商工会議所、旭川共生会などの合同で開かれました。私も高丸さんの遺影に向かいお別れの言葉を述べました。公私にわたり本当にお世話になりました。



405名の参加で盛大に笠木杯パークゴルフ。

9回目を迎えた笠木かおる杯親睦パークゴルフ大会が7月26日、パークランド嵐山を会場に開かれました。今年も午前の部と午後の部の2回に分けて開催し、405名もの皆様にパークゴルフを楽しんでいただきました。準備をいただきました実行委員会、旭川市パークゴルフ協会（鈴木稔会長）の皆様、ご参加くださいました愛好家の皆様に心から感謝申し上げます。これからもパークゴルフの振興に一生懸命がんばっていきます。尚、優勝・準優勝者は次の通りです。



- 【午前の部】
- 男子優勝 大柳勝美さんスコア88
 - 女子優勝 渡瀬洋子さんスコア94
 - 準優勝 長谷山博さんスコア91
 - 準優勝 谷島龍子さんスコア100
- 【午後の部】
- 男子優勝 佐藤通夫さんスコア93
 - 女子優勝 須藤幸子さんスコア102
 - 準優勝 小野久光さんスコア93
 - 準優勝 小川ミヨ子さんスコア102



日韓親善少年サッカー交流。



9月4日～6日、旭川市の姉妹都市、韓国・水原市からサッカー少年団が来旭しました。少年サッカーの交流事業は今年で11年目になります。私は旭川商業高校で3年間、サッカーに明け暮れていたこともあり、現在、旭川地区サッカー協会（太田英司会長）の相談役を務めています。写真は水原サッカー協会の皆様との1コマです。

西川市長を兵村記念館に案内しました。



毎年8月14日に行われている屯田慰霊祭に、西川市長の出席依頼を旭川屯田会（三上善三郎会長）からいただきました。その際、西川市長を兵村記念館にも案内しました。

兵村記念館は昭和55年に財団が設立され、来年30周年を迎えます。開拓当時の人々の思いや生活様式を伝えることは貴重な事業で、これを機に記念館の更なる繁栄が期待されています。

ふれあいいきいきサロンに顔をだしました。



写真は、千代田地区社会福祉協議会が毎月行っている「千代田ふれあいいきいきサロン」（9月21日）。この日はカラオケ大会も行われ私も参加者の宮城幸子さんと「二人の大阪」をデュエットさせていただきました。

第3回定例会の報告です。

大綱質疑にたちました。



旭川市議会の第3回定例会は9月15日に開会し10月14日までの30日間の会期で開かれました。
今議会は、平成20年度旭川市会計の決算審査などが主な議題でしたが、同決算は賛成多数で認定されました。

私は、本会議で大綱質疑にたち、20年度決算に対する西川市長の所見を大綱的にたしました。
以下、その要旨を報告します。

東光スポーツ公園総事業費 68億円の減。

- (笠木) 東光スポーツ公園の前期整備計画は、パークゴルフ場27ホールとサブ野球場一面の整備で終了するが、後期整備計画はどうなるか。
- (答弁) 現在、検討委員会で意見集約を行っているが、複合体育施設については、アリーナとプールの整備を凍結し、球技や武道の各種大会に対応可能な施設を整備する。
- (笠木) 総事業費は土地買収費を含め当初、250億円で計画されたが、現時点でどの程度、縮減の目途がたったか。
- (答弁) 約182億円となる見込みで、68億円縮減となる。

【解説】東光スポーツ公園整備計画の見直しがいま進められています。メイン・サブの球技場（サッカーなど）整備やパークゴルフ場の9ホール増設などがほぼ決まりました。
一方、財政事情から複合施設に計画されていたアリーナやプールなどの整備が凍結される予定です。これらにより約68億円の事業費縮減となります。



鉄道の歴史を後世に。

- (笠木) 市民活動交流センターが明年6月に開設するが、この建物の歴史を後世に伝える取り組みは考えているか。
- (答弁) 旭川の鉄道の歴史をわかりやすく紹介する「歴史展示コーナー」を設置する。

【解説】宮前地区に残る煉瓦造建物2棟を保存・修復して、来年6月に市民活動交流センターとしてオープンします。この建物は旭川まで鉄道が開通した明治31年の翌年に国鉄の工場として立てられてもので、旧国鉄の建物としては全国でも最も古い歴史的建物です。鉄道が果たした経済・物流・雇用などの歴史を伝えることが大切と主張しています。

市立病院経営の中間評価を。

- (笠木) 市立病院の決算が前年に比べ悪化している。その理由は。
- (答弁) 整形外科医の欠員により入院患者が減少したことや退職者増による人件費のアップが主な原因だ。
- (笠木) 中期経営計画の中間評価が必要でないか。
- (答弁) 今年10月以降に中間評価を行い、来年度の予算編成等に反映させる。

【解説】市立病院の「焦眉の急」は整形外科医の確保となっています。運転資金は約30億円と「潤沢」ですが、減価償却費を含む損益計算での純損失と、一般会計からの繰入金金を減らすことが求められています。



市立保育所をどう残すか。



- (笠木) 市内5つの市立保育所を、どのように残すか。
- (答弁) 神楽・新旭川・近文の3保育所を直営で残し、こまどり・北星の2保育所を民間に移譲する方向で検討している。

【解説】一時、指定管理者制度の導入も検討されましたが、この制度では何年かごとに保育士さんが代わることもあり、情緒性豊かな子供たちを預かる保育所制度としては適当ではないと言ってきました。5箇所から3箇所を集約化し、保育ニーズへの対応を図る予定です。

ごみの埋め立て量が減少しています。

- (笠木) 市民の理解と協力で、ごみの最終処分場への埋め立て量が予想以上に減っている。芳野最終処分場の使用期間延長は考えられないか。
- (答弁) 今後の江丹別地域の方々との話し合いの経過なども含めて検討をすすめる。



【解説】芳野最終処分場への埋め立て量が、ピークであった平成16年との比較で、なんと4分の1まで削減されました。芳野最終処分場の使用期間は平成30年までですが、このままの推移であれば平成40年まで使用が可能です。いまから丁寧に地元、江丹別住民の理解を求めることが必要と思います。

このほかに、政権交代によるメリットとデメリット「三位一体改革」がもたらした地方への影響などを質問させていただきました。

牧伸二さんを共生園に招きました。

8月8日、特別養護老人ホーム身体障害者療護施設「共生園」の第7回共生園まつりにウクレレ漫談の創始者、牧伸二さんを招きました。牧伸二さんは昭和9年生まれの75歳。東京演芸協会の会長として若手の育成や演芸の伝承にも努めています。また、絵画の個展を開くなどの文化人でもあります。「人生は楽しむもの」との色紙をいただきました。



旭山のベンチづくりに参加しました。



旭山公園は幼きころの絶好の遊び場でした。このほど、旭山を活かす市民の会（二川チエ子会長）が散策路3箇所にベンチを設置しました。不器用な自分ですが、私もベンチづくりに参加し汗を流しました。



10月15日、東旭川地区後援会（中川希一会長）の「事務局交流会」を開いていただきました。とても楽しいひとときでした。